

いでは
文化記念館
企画展

三山を描く 三浦恒祺

羽黒・月山展



『羽黒山石段・継子坂』

2023年 12/2 土 ~ 2024年 4/8 月

入館料：大人 400円 高校・大学生 300円 小・中学生 200円

アクセス：鶴岡駅より路線バス羽黒山頂行きで約40分。

「いでは文化記念館」バス停より徒歩1分。

山形自動車道「庄内あさひIC」から車で40分。

※2023年12月18日(月)~2024年1月7日(日)は、
企画展示室の大規模改修工事のため、
本企画展は一時中断いたします。

開館：12月~3月/9:30~16:00
4月/9:00~16:30

※休館日
・毎週火曜
・12月29日(金)~1月3日(水)休館
・1月下旬~2月上旬臨時休館予定
詳細な日程はHPをご覧ください▶



企画展記念ミニコンサート
2024年4月7日(日) 13:30~

いでは文化記念館レクチャーホール 入場無料
演奏：滝沢佳奈子氏 (ピアノ・オカリナ・歌)
中野 浩司氏 (パーカッション)



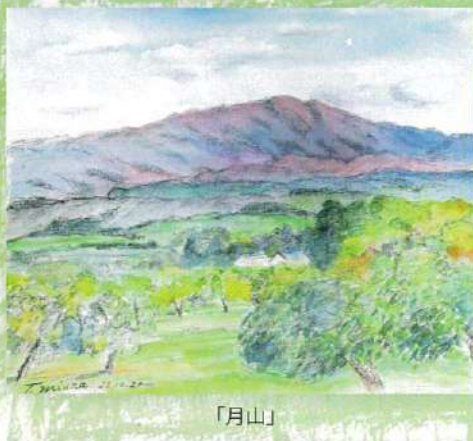
いでは文化記念館
〒997-0211 山形県鶴岡市羽黒町手向学院主南72
Tel.0235-62-4727(代) Fax.0235-62-4729
E-mail: hagurokanko@bz04.plala.or.jp

いでは
文化記念館
企画展

三山を描く三浦恒祺 羽黒・月山展



「大進坊」(桜小路)



「月山」



「松ヶ岡
水芭蕉園にて」

絵が語る、羽黒・月山の四季。

鶴岡在住の画家・三浦恒祺氏によって描かれた風景。今はその多くが姿を消した茅葺き民家のみならず、羽黒山内の風景や、四季折々の月山とその麓を描く。優美な色と大胆ながらも緻密な筆は迫力と輝きを放ち、その描いた絵画の総枚数は1000枚以上にものぼる。三浦恒祺氏の見てきた羽黒と月山の風景を多くの人と分かち合い後世に残したい。そのような願いから今回、前回のいでは文化記念館開催の三浦恒祺氏企画展から7年の時を経て、三浦氏の様々な「記憶」を展示する。

「国指定史跡 松ヶ岡開墾場 一番蚕室」



「庄内柿畑」(松ヶ岡開墾場から)

1930(昭和5)年 東京都大井町に生まれる。
1935(昭和10)年 父親の転勤のため広島へ移住。
1945(昭和20)年 8月6日 中学2年の時に被爆。両親の郷里・鶴岡へ帰郷。
1949(昭和24)年 鶴岡第一高等学校卒業、庄内銀行へ就職。以後数々の作品を受賞。
1992(平成4)年 退職を機に作品制作に専念。
松ヶ岡開墾場内「ギャラリーまつ」や致道博物館で複数回個展、他県内外多数展示開催。
画集『出羽路の茅葺き民家』、『庄内の憧憬』を刊行。
羽黒町教育文科功勞表彰、朝日村サプライズ表彰、鶴岡市芸術文化協会功勞表彰。

みうらつねき
三浦恒祺氏
略歴

企画展関連イベント

『企画展記念 ミニコンサート』

入場
無料

日時 | 2024年4月7日(日) 13:30~14:30

会場 | いでは文化記念館 レクチャーホール

料金 | 無料(企画展をご覧になる場合は別途入館料がかかります)

奏者 | 滝沢佳奈子氏(ピアノ・オカリナ・歌)・中野浩司(パーカッション)

紹介 | 滝沢氏は三浦恒祺氏の娘。音楽の力で庄内の恵みや素晴らしさを伝え、音楽教室も開催している。また、被爆2世の活動として、会話本『お父さん、聞かせて広島原爆のこと!』を出版。



アクセス

鶴岡駅より路線バス羽黒山頂行きで約40分。
「いでは文化記念館」バス停より徒歩約1分。
山形自動車道「庄内あさひIC」から車で40分。



お申し込み・お問い合わせはこちら

いでは文化記念館

〒997-0211 山形県鶴岡市羽黒町手向学院主南72
Tel.0235-62-4727(代) Fax.0235-62-4729
E-mail: hagurokanko@bz04.plala.or.jp